

4 医療相談

窓口では、医療に関する様々な相談を受けている。

切り傷などで軽微なものは、消毒薬の塗布・傷テープの支給で処置しているが、受診が必要な者には（社福）大阪社会医療センターに診療の依頼を行っている。また、冬季、インフルエンザの流行時などに、ポケットティッシュや簡易マスクの配布を行い、併せて衛生に関する啓発を行った。

2007(平成 19)年度は、傷テープの配布 8,606 件、軽微な処置 640 件、ポケットティッシュの支給 12,888 件、診療依頼 6,371 件、歯科など医療センターに診療科目がない場合の他機関案内 739 件、救急車による搬送 25 件であった。（表Ⅱ-10）

5 労働者援助

（1）短期宿泊援助

仕事に就くことができなかつたり、働いた賃金が受け取れないなどの事情で困っている労働者に対し、1967年(昭和 42年)より宿泊と食事の提供を（社福）大阪自彊館（三徳寮）に依頼している。

2007(平成 19)年度は、相談数 2,969 件、措置依頼 1,595 件、宿泊件数 1,581 件であった。前年度より措置依頼、宿泊件数が 200 件ほど増えたのは、求人が落ち込む中で宿泊回数の制限を緩和したためである。

別途、大阪府簡易宿所生活衛生同業組合のご厚意により、1999年(平成 11年)8月から簡易宿所への無料宿泊紹介を行っている。2007(平成 19)年度は 719 件の紹介を行った。

三徳寮短泊、簡宿無料宿泊ともに 1日 6名限度の小さな枠ではあるが、地域団体との協力関係の中で成り立っている貴重な緊急対応資源である。

（2）疾病予防援助

困窮している労働者に対し、衣類、洗面セット、使い捨てカイロなどの物品 24,628 件の援助を行った。支給している衣類は、寄贈されたものを利用するとともに、下着類は購入している。2007(平成 19)年度の前着の寄贈は 6 件あった。

また、NHK歳末たすけあい募金より、あいりん地区現地懇談会を通じ、下着・ティッシュ等の寄付をいただいた。

なお、冬季に配布したカイロは、購入したものの他、桐灰化学株式会社より 2 回にわたって 50 ケース（12,000 個）の寄贈を受けたものを合わせて配布した。

（3）生活援助

就労・賃金受領・労災手続等を行うために必要な交通費に困っている労働者や、その日の食事代や宿泊費が不足している労働者に対し、実費程度の少額の金銭援助を行っている。

2007(平成 19)年度の相談数は 327 件で、措置は 197 件であった。（表Ⅱ-10）

(4) 労働関係相談・生活身上相談・その他の相談

「労働関係相談」は、就労に必要な事業所の住所・電話番号を調べたり、電話を貸す等が 664 件、雇用保険の相談が 207 件であった。

「建設業退職金共済制度（建退共）」は、建設関係に就労する現場労働者の退職金制度で、2007(平成 19)年度は、建退共制度の案内 309 件、手帳作成相談 223 件、更新・再交付を含む手帳作成手続援助が 103 件あった。そのうち新規手帳作成は 83 件である。新規手帳作成が前々年度の 44 件、前年度の 45 件より大きく上回ったのは、6 月より、あいりん労働公共職業安定所が日雇雇用保険手帳を新規交付するときに、係員が出向いて加入を訴えた結果である。なお、手続援助は 2000 年(平成 12 年)7 月から行っており、累計で 664 名の労働者が新規に手帳を手に入れている。

「生活身上相談」は、住民登録のための相談が 543 件あり、110 件の請求手続を援助した。

住民票の移動や設定は、雇用保険日雇労働被保険者手帳を作ることを目的に行われる場合が大半を占めてきたが、近年は高齢化を反映し、高齢者特別清掃登録や生活保護受給等に関連して行う場合も増えている。しかし、2006(平成 18)年度におきた、釜ヶ崎解放会館等に設定してあった住民票の大量職権消滅以降、簡易宿所も居住不安定労働者の住民票設定先としては適切でないため、窓口でも対応に苦慮している。

手続きに際しては、以下のような困難がある。

- ① あいりん地域に来るまでの過程で、本籍や住民票登録地の記憶があいまいになっている。
- ② 長期不在のため職権消滅されていて、二度三度のやりとりが必要。
- ③ 失踪宣告による除籍や、本人の知らない間に養子縁組を何度もされていたこともある。
- ④ 遠隔地への郵便による請求にあたっては、身分証明書の写しの提出を求められる等、本人確認が厳しくなっている。(身分証明書が何もない場合が多い。)
- ⑤ 住民票抹消問題発生以後は簡易宿所が転入の受け皿とされているが、継続的に泊るおカネが無い高齢者等には「宿泊証明書」の取得が簡単ではない。等々

健康保険の送付手続きは、遠隔地に出張している労働者が帰阪し、資格確認の手続きを行ったものの、取次ぎに一日かかるため『出張先へ保険証を送って欲しい』という要望にもとづいたものである。雇用保険・健康保険手帳取得者の減少に伴い、送付手続きも減少傾向にあり、2007(平成 19)年度は 53 件となった。

「住宅相談」は 92 件であった。従来から住宅相談の一つとして「単身者向け UR 住宅（旧公団住宅）」への入居案内を行っているが、2005 年(平成 17 年)11 月に起きた耐震強度偽装事件の影響で UR 住宅も耐震強度調査を行っており、地域労働者が入居を希望する、家賃の安い近隣の住宅などが募集停止となり、相談件数は減少している。

「その他」は、センター業務の説明や他施設・機関に関する案内、「インターネットで調べてほしい」「地図をコピーしてほしい」「爪切りを貸してくれ」など日常生活を補うこまごました要望のほか、飲酒者への対応 462 件を含め 7,648 件であった。

主な業務の歴年推移は、図Ⅱ-3 のとおりである。 (表Ⅱ-11)

6 労働者福利厚生

労働者の文化、娯楽に資するため、9月4日(火)に府立淀川工科高等学校吹奏楽部を招いて、萩之茶屋南公園(三角公園)で「たそがれコンサート」を開催した。約1,000名の労働者が懐かしのメロディーなどの演奏に憩いの一時を過ごした。

たそがれコンサートは1981年(昭和56年)より実施され、府立淀川工科高等学校吹奏楽部の演奏は、1990年(平成2年)から行われている。

(1989年(平成元年)は、雨天のため中止)

また、10月22日(月)には32名の参加を得て「将棋愛好者のつどい」を開催した。この「つどい」は1981年(昭和56年)から開催しており、1992年(平成4年)より日本将棋連盟の森信夫七段の指導を受けている。

地域労働者の福祉のため、年2回、シャワー室の無料開放を行っている。2007(平成19)年度は、夏は8月20日(月)~25日(土)の6日間(利用者1,607名)、冬は12月26日(水)~28日(金)と1月4日(金)の4日間(利用者734名)であった。

なお、無料開放時には、タオル・石けん・カミソリの給付を行っている。

7 広報・啓発活動

求人求職情報・労働安全衛生面の啓発・生活健康地域役立ち情報の普及を図るため、月刊の広報紙「センターだより」を2,500部作成し、事務所窓口や寄り場の中央詰所で配布している。

例年の建退共加入の推奨や健康管理の啓発記事に加えて、技能講習に伴うキャリアアップや、職種転換の支援に関する記事に力を入れた。また、日雇い派遣が社会問題化していることから、雇い入れ通知書や求人プラカードの発行等の雇用ルールの啓発記事も掲載した。年間の主要掲載記事は、表Ⅱ-12のとおりである。

行政関係や地域の諸団体・施設への直接手渡しや送付などにより、情報発信力や協働の拡大に努力している。

なお、「センターだより」は1978年(昭和53年)1月に第1号を発行し、2008年(平成20年)9月には400号を迎える予定であるので、3階事務所で『30周年&400号記念事業』と銘打ったバックナンバー展示を、2008年(平成20年)1月より行っている。加えて縮刷版を「101~200号」「201~300号」各巻200部ずつ作成した。

既存の「1~100号」、次年度予定の「301~400号」縮刷版とあわせると、あいりん地域の過去30年間の動向やセンター業務の変遷が良く見えてくるものと思われる。

また、仕事や生活に役立つと好評の『労働者べんりちょう』2008年版を12月に制作し、6,000部配付した。

労働者のつながりづくりと地域愛着を深めるための『歴史発見ウォーク』は、大阪市立大学・創造都市研究西成プラザとの協働が実現し、ガイドが充実したため、通常の春（4月26日(木)15名参加）に加え、秋（11月13日(火)17名参加）も実施した。

2007年度(平成19年度) 医療、緊急措置相談状況

(表Ⅱ-10)

	医 療 相 談							緊 急 措 置 相 談													
	傷テープ	処 置	ティッシュ等		診療依頼	他機関 案内	救急車 依頼	合 計	短期宿泊 (自強館三徳寮)					簡宿 紹介	疾 病 予 防 援 助			生 活 援 助			
			マスク	ティッシュ					相談	応募	依頼	宿泊	返戻		衣類	洗面セット	カイロ	合計	相談	措置	返戻
4月	800	43	544	2,718	699	66	4	1,612	307	252	142	142	98	76	33	211		244	47	28	6
5月	758	47	101	1,413	710	63	1	1,579	405	312	138	138	98	85	37	217		254	35	24	11
6月	629	47		699	518	73	4	1,271	241	176	139	139	111	56	52	191		243	35	21	10
7月	612	48		565	538	73	2	1,273	262	206	134	133	120	59	37	190		227	18	11	7
8月	759	55		551	506	73	3	1,396	271	226	142	139	148	53	34	187		221	27	17	15
9月	716	45		474	439	53	2	1,255	211	179	126	126	110	59	17	178		195	13	9	4
10月	868	48		558	519	59	1	1,495	257	215	146	145	138	73	96	208		304	32	25	13
11月	923	53	62	716	474	57	3	1,510	187	160	126	125	125	58	43	170		213	23	11	7
12月	676	64	310	1,266	437	59	0	1,236	189	163	123	120	97	34	55	141	3,252	3,448	18	5	5
1月	581	69	638	1,376	559	72	2	1,283	220	189	122	122	125	58	20	165	7,685	7,870	29	18	8
2月	652	71	844	1,108	434	55	1	1,213	180	145	118	115	116	50	60	153	8,665	8,878	23	7	8
3月	632	50	582	1,444	538	36	2	1,258	239	208	139	137	108	58	24	182	2,325	2,531	27	21	6
年度合計	8,606	640	3,081	12,888	6,371	739	25	16,381	2,969	2,431	1,595	1,581	1,394	719	508	2,193	21,927	24,628	327	197	100
前年度合計	9,503	539	2,620	12,010	6,906	590	32	17,570	2,139	1,802	1,393	1,381	1,190	723	682	2,087	29,040	31,809	382	238	124
前年度比	-9.4%	18.7%	17.6%	7.3%	-7.7%	25.3%	-21.9%	-6.8%	38.8%	34.9%	14.5%	14.5%	17.1%	-0.6%	-25.5%	5.1%	-24.5%	-22.6%	-14.4%	-17.2%	-19.4%
前々年度合計	10,378	574	1,300	11,180	7,614	692	15	19,273	1,941	1,601	1,328	1,316	1,086	692	328	2,002	25,680	28,010	373	161	93
前々年度比	-17.1%	11.5%	137.0%	15.3%	-16.3%	6.8%	66.7%	-15.0%	53.0%	51.8%	20.1%	20.1%	28.4%	3.9%	54.9%	9.5%	-14.6%	-12.1%	-12.3%	22.4%	7.5%
年度計画	11,000		13,000		7,200	720					1,550			700	2,600	25,000	27,600		220		

※ 医療相談の合計には、ティッシュ等は含まれていない。

2007年度(平成19年度) 労働関係、生活身上相談状況

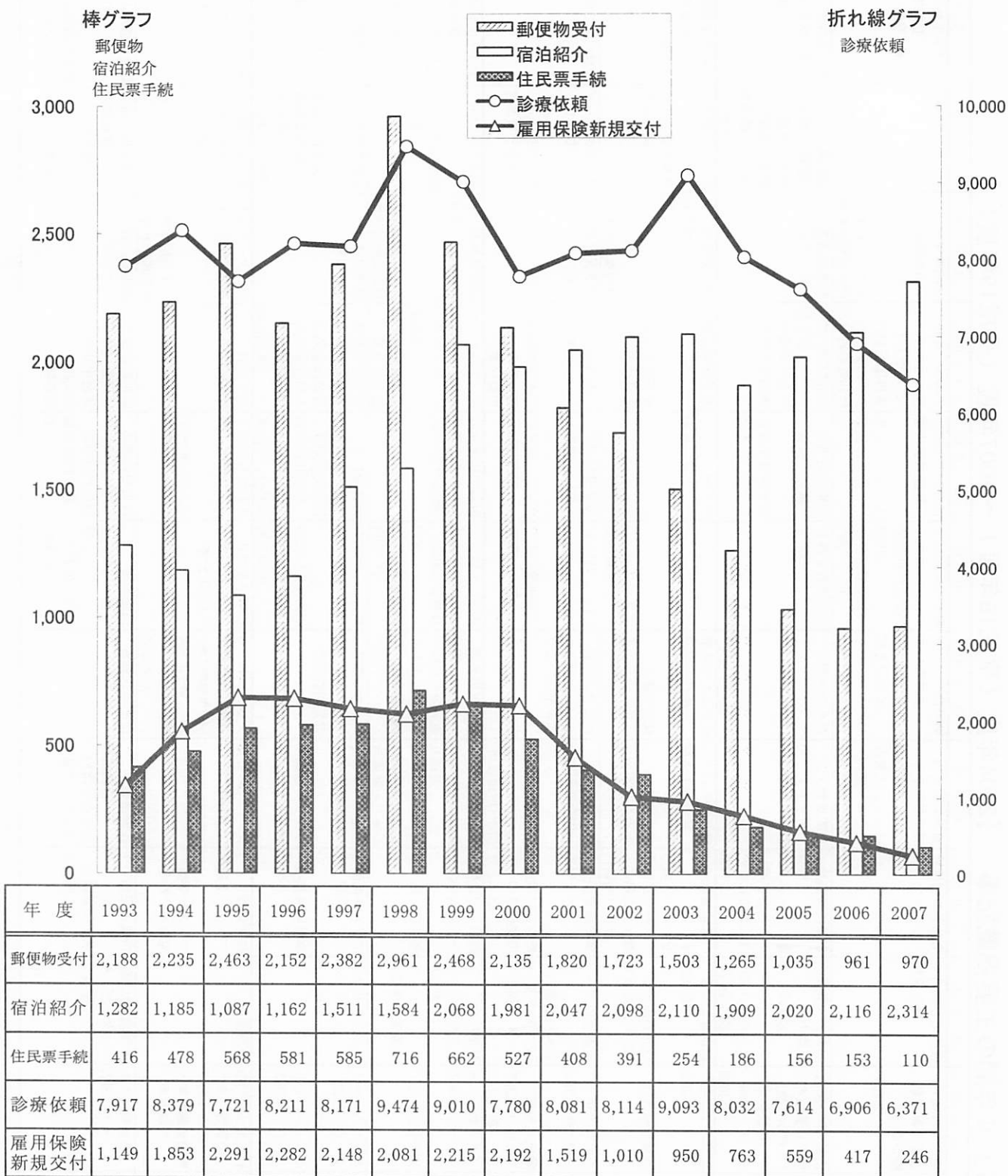
(表Ⅱ-11)

	労働関係相談										生活身上相談										その他					
	就労 関係	雇用保険		建退共手帳			合計	合計	戸籍住民票		健保・年金		住宅 相談	所得 証明	郵便物受け渡し		尋ね人	落し物	合計	合計	飲酒者	総合 案内	その他			
		相談	手続	窓口	職安等	案内計			相談	手続	相談	手続			相談	手続								受付	渡し	相談
4月	100	24	0	23		23	20	5	167	5	104	19	21	6	12	1	100	96	7	7	348	25	46	258	415	
5月	50	32	4	23		23	21	10	126	14	68	15	24	7	8	0	99	100	14	9	322	22	46	201	368	
6月	48	18	0	26		26	17	6	109	6	42	7	20	8	8	0	77	72	8	5	232	15	36	236	384	
7月	45	7	1	20		20	17	10	89	11	42	11	29	6	9	0	64	61	5	8	218	17	30	213	433	
8月	47	16	0	29		29	18	10	110	10	51	14	12	4	8	1	83	74	9	2	240	18	29	239	422	
9月	32	15	0	25		25	20	8	92	8	34	3	16	2	6	0	72	72	8	4	212	5	39	178	340	
10月	42	18	1	27		27	20	8	107	9	25	5	28	7	8	0	78	92	9	7	247	12	40	207	363	
11月	53	20	0	31		31	24	11	128	11	20	6	14	2	5	0	74	74	9	4	200	8	38	195	397	
12月	34	15	0	24		24	14	6	87	6	35	7	12	3	6	0	85	78	2	2	220	10	35	182	387	
1月	70	20	2	13	17	30	18	9	138	11	34	4	20	1	12	0	77	74	9	7	233	5	36	192	408	
2月	74	12	0	10	15	25	15	6	126	6	41	6	18	2	9	0	73	76	12	2	231	8	48	199	404	
3月	69	10	0	8	18	26	19	14	124	14	47	13	19	5	1	0	88	85	6	2	248	18	39	193	372	
年度合計	664	207	8	259	50	309	223	103	1,403	111	543	110	233	53	92	2	970	954	98	59	2,951	163	462	2,493	4,693	
前年度合計	687	367	10	244	0	244	202	60	1,500	70	780	153	318	83	109	5	961	951	116	86	3,326	236	601	2,729	4,775	
前年度比	-3.3%	-43.6%	-20.0%	6.1%		26.6%	10.4%	71.7%	-6.5%	58.6%	-30.4%	-28.1%	-26.7%	-36.1%	-15.6%	-60.0%	0.9%	0.3%	-15.5%	-31.4%	-11.3%	-30.9%	-23.1%	-8.6%	-1.7%	
前々年度合計	1,071	411	19	267	0	267	185	51	1,934	70	730	156	350	88	220	19	1,035	1,051	115	48	3,568	244	790	2,300	3,802	
前々年度比	-38.0%	-49.6%	-57.9%	-3.0%		15.7%	20.5%	102.0%	-27.5%	58.6%	-25.6%	-29.5%	-33.4%	-39.8%	-58.2%	-89.5%	-6.3%	-9.2%	-14.8%	22.9%	-17.3%	-33.2%	-41.5%			
年度計画	1,200						240					180		85	150		2,400									

※ 建退共手帳の「職安等」は2008年1月より計上、「手続」は更新・再発行を含む。

主な労働福祉業務の历年推移

(図Ⅱ-3)



〈注釈〉 郵便物受付とは、生活身上相談の郵便物を受理した件数
 宿泊紹介とは、緊急措置相談による短泊依頼数。1999年以降は、簡宿紹介数との合計数
 住民票手続とは、生活身上相談の住民票手続件数
 診療依頼とは、大阪社会医療センターへの診療依頼書の発行枚数
 雇用保険新規交付とは、あいりん職安が発行した、雇用保険日雇労働被保険者手帳の新規交付数

「センターだより」4年間の主要掲載記事 【2004年度（平成16年度）～2007年度（平成19年度）】

(表Ⅱ-12)

		4月号	5月号	6月号	7月号	8月号	9月号	10月号	11月号	12月号	1月号	2月号	3月号	常設記事
2004 (平成16)	1面	技能講習案内 特掲登録案内	高血圧は怖い 特掲登録者数 輪番紹介の お願い	機械化される 建設現場	高齢者特別清掃 アンケート	温泉に行こう 歴史発見ウォーク 番外編 ソノメン代案内 たそこん案内	結核に まけないで パラリンピック にかける夢	みんながんばっ てます 高齢者特別清掃 の現場 「将棋愛好者の 集い」案内	様が変わりした 建設労働市場 インフルエンザ に注意	アルコール依存 症に向き合おう 「こんな人も」 南港臨泊案内 モチ代支給案内 便利帳配布案内	2005新年号 山本貴司さん のメッセージ モチ代支給案内 便利帳配布案内	みんなの初夢	2005年度特掲 登録案内 (絵・写真)	・求人情報 ・技能講習案内 ・『カマヤン』 ・およびだし ・たずねびと ・結核検診結果
	2面	「歴史発見ウォーク」報告 「声」	山谷・寿の現状 労災相談案内 「あずかり物」 相談係まで メーデー会場 清掃	センター事業への 協力、 ありがとう センターの窓口 案内(図示)	事業主懇談会 報告 展示「ホームレス と生存権」 犬にかまれない 方法	技能講習アン ケートまとめ シャワー室	たそこん報告	技能講習受講者 の声① 技能講習受講者 の声②	将棋愛好者の 集い(報告) 技能講習受講者 の声②	「団団住宅」で 新生活 年末年始関係 機関窓口案内	理事長挨拶 クロスワード	退院後のケアも (医療C相談室) 回答と当選者 健康豆知識⑦ 後けい(腰痛を 手で治す)	さくらスポット 「歴史発見ウォーク」案内	・投稿 ・釜ヶ崎日誌 ・建退共手帳預 かっています
2005 (平成17)	1面	技能講習案内 特掲登録案内	広がっている 建退共 特掲登録者数	新世界でロケ した映画 特掲登録者の 状況、注意事項	一晩泊まれます センターへ協力 ありがとうございます 森先生の詰め 将棋(開始)	戦後60年、 私の戦争体験 たそこん案内	ホームレス就業 支援センター発足 就労支援セン ターいろいろ	アスベスト 問題特集 (A4二つ折り)	アスベスト 除去現場 便利帳配布案内 南港臨泊案内	地域貢献業務 スタート 便利帳配布案内 南港臨泊案内	2006新年号 金本知憲さん のメッセージ 便利帳配布案内	みんなの初夢 事業所状況の 調査報告	2002年度特掲 登録案内 (絵入り)	・求人情報 ・技能講習案内 ・『カマヤン』 ・およびだし ・たずねびと ・結核検診結果
	2面	阿倍野防災セン ター訪問 「歴史発見ウォーク」報告	市町村合併で 俺の住民票は 健康豆知識⑧ 腎ゆ(体調を 整える)	災害復旧で.. 労災相談案内 「あずかり物」 相談係まで	事業所懇談会 報告 熱中症に注意 市民健診の おしらせ	アルコール 依存症回復.. アスベスト 住所・戸籍悪用	たそこん報告 図書館にこう 「将棋愛好者の 集い」案内	将棋愛好者の 集い(報告) センターの窓口 案内(図示)	「本当は怖い 高血圧」 年末年始関係 窓口案内 相談係案内	理事長挨拶 クロスワード	紙芝居グループ 「むすび」 クロスワード 回答と当選者	国際化する簡宿	・投稿 ・釜ヶ崎日誌 ・建退共手帳預 かっています ・詰め将棋	
2006 (平成18)	1面	技能講習を受講 したみなさんの 声 石綿講習案内 特掲登録案内	「歴史発見ウォーク」報告 特掲登録者終了	わが社は 小さなゼネコン ですねん 地域貢献事業	建退共で退職金 を手に入れたぞ 熱中症を防ごう	大阪三大祭 新世界42年ぶり 盆踊り 東大阪の仲間が 集まりました 将棋愛好者の つどい案内	初の飯場検診 実施 日章倒産相談 案内 将棋愛好者の つどい案内	住之江・住吉公 園就労体験 日章倒産相談 案内 将棋愛好者の つどい案内	飯場で結核発病 どうする? (結核の豆知識) インフルエンザ に注意! ノロウイルス 感染症 便利帳配布案内 淀工が金貸!	2007新年号 全国の雑煮 カイロ配布案内 便利帳配布案内	西成防災記事 倒産に伴う 立替払い	2007年度特掲 登録案内 (絵入り) 短泊・簡宿案内	・求人情報 ・技能講習案内 ・『カマヤン』 ・およびだし ・たずねびと ・結核検診結果	
	2面	新レントゲン車 登場! 「歴史発見ウォーク」案内	花見ごろ(中之 島・城北公園) センターだより を囲む座談会	アルミ缶集め カンントリー ロード	アブレ手帳激減 なぜ!? 事業所懇談会 の報告	労働条件をよく 確かめよう! センター事業への 協力ありがとう	たそこん報告 労災相談案内	新レントゲン車 のその後 石綿業務に従事 した離職者特別 健康診断 特掲ペンキ記事	将棋愛好者の 集い(報告) 越年対策事業 結核健診実施 について 特掲ペンキ記事	越年結核健診 南港臨時宿泊 貸金相談窓口 石綿特別健診 関係機関窓口 業務状況	理事長挨拶 クロスワード	住民票問題 石綿業務に従事 した離職者健康 診断経過 回答と当選者	技術者継承 エキストラ 130名雇用	・投稿 ・釜ヶ崎日誌 ・建退共手帳預 かっています ・詰め将棋
2007 (平成19)	1面	技能講習案内 特掲登録案内	住民票抹消問題 の影響いまだ おさまらず 特掲登録者数・ 登録者の声	歯科診療	技能講習 アンケート結果 センター事業への 協力ありがとう	ロンドンみやげ話 (むすび)	ブラカードでし っかり条件確認 (労働相談記事) 血圧記録・面表 電信が替が なくなる	仕事でケガをし たら (労災記事) 求人者の年齢制限 撤廃!	それでも作ろう 建退共手帳 求人の年齢制限 撤廃!	旧木津村 歴史発見ウォーク	センターだより 30周年記念号 カイロ配布案内 便利帳配布案内	雇入通知書で 契約内容を 確かめて 求人状況 アンケートから	キャリアカウ ンセリングって なんやねん ・およびだし ・たずねびと ・結核検診結果	
	2面	今までの歴史 発見ウォーク 「歴史発見ウォーク」案内	「歴史発見ウォーク」報告	歯科治療状況 センターだより 座談会	西成市民館 事業所懇談会 の報告	技能講習 習熟講習 たそこん案内 シャワー室開放	たそこん報告	短編映画 「釜ヶ崎のレー ニン」上映 将棋愛好者の つどい案内 歴史発見案内	将棋愛好者の 集い(報告) 越年対策事業 結核健診実施 について	越年結核健診 南港臨時宿泊 貸金相談窓口 便利帳配布案内 関係機関窓口 業務状況	理事長挨拶 クロスワード	2008年度特掲 登録案内 (絵入り) クロスワード 回答と当選者	製造派遣求人 に注意 新規特掲登録を 申し込むには	・投稿 ・釜ヶ崎日誌 ・建退共手帳預 かっています ・詰め将棋

センターだより

第392号
2008年1月4日発行
(財)西成労働福祉センター
大阪市西成区萩之茶屋 1-3-44
☎06-6641-0131

編集担当者の思い出

荷の重い紙面づくりのはずが ★1993年3月発行

まだまだ新米の編集委員にとって本当は荷の重い紙面づくりのはずだった。しかし、窓口には人生経験豊富な助っ人がいつも待ち構えてくれ、思い出話や昨日現場であったことを教えてくれた。

思い出話には聞くにしのびないつらい話もあるのに、それをさらっと懐かしむように（そこには温かみまで感じさせて）語ってくれた。

Nさんは釜の案内人となり今も釜を語っている。

いい記憶だけが残って

当時はセンターの伝えたいこと、窓口にもってきてくれるさまざまな投稿・話がたくさんあり、月1回では足らず、月2回発行を行っていた。

それでも2000枚はすぐにはけた。

いつもネタを探して、紙面にして…の毎日だったような。それでも毎日窓口でいろんなことを聞き、たまには怒鳴られたりしたけれど、きっと充実していたようないい記憶だけが残っている。

センターだより発行 30年を迎えました！！

目を街の中に ★2000年10月発行

毎月発行を重ねてきた編集担当のバトンは結構重い。それまでにない紙面を作ろうとそれなりにもがき、思い当たったのが、労働者の生活面を取上げることだった。

センター前の音声信号機の設置や簡易宿所の変わりようなど、街の話題を取上げたのもそうした思いからだった。

手書きの味を消さずに

紙面の改善に取り組んだのもこの頃である。

パソコンを使っただけの編集は楽だ。写真の貼り付けや紙面割付などはものすごく便利だが、読者が読みやすいかは別問題。守ってきた手書きの味が消えることにもなる。

紙面への親近感を失わせない工夫を以前にもまして気を使った。試行錯誤のくり返しだったが読者と距離のないセンターだよりを目指したことは確かだ。

400号へ記念事業開始!

センターだよりが今月号で30周年。加えて、今年9月号がちょうど400号に達します。この2つをつなぐ「30周年&400号記念バックナンバー「展示事業」を実施します。

センター3階事務所内に、センターだよりの過去30年間分のものを連続的に展示していきます。1週間(1年分(12ヶ月分))を順次展示していくと、夏(7月)に終わり、9月号がちょうど400号です。

労働者のみなさんをはじめ、職員を含め関係する人々がそれを見て、若い頃を思い出し、なつかしく思うのではないのでしょうか。

そして、仕事や地域生活の過去・現在・未来について考え、元気な明日に向かってもらうのに役立つかもしれない、役立ってほしいと願います。

また、比較的最近この地域にきた方々には、これまでのセンターの事業や地域の移り変わりについて、理解が深まるかもしれません。

ささやかですが、事務所内での話題が増え会話もはずみ、これからのことを考えるエネルギーになればと期待しています。

期間中、さまざまなご意見・ご感想を窓口にお寄せください。

★1978年1月発行

創刊号編集者

声に何とか応えよう

「センターだより」の前身として、「労働福祉ニュース」が、「センターだより」発行の約7ヶ月前、1977年6月1日に発行された。

そのきっかけは、センターを利用する労働者から「センターに来れない仲間にも連絡や案内をしてほしい。」とか、「川柳や詩を紹介して欲しい。」「仕事や生活で役に立つことをもっと知りたい。」などの声がたくさん寄せられた。

その声に何とか応えようとしたことが、「センターだより」に発展し、以降30年間労働者と苦楽をともにしてきたと言えるのでは。漫画「カマヤん」の元気で明るい主人公とともに。

足で稼いで、すぐに役立つ紙面づくりを

現在のようにパソコンでの紙面ではなく、すべて手書きだったので、紙面づくりは苦勞し続けた。最もこだわったのは、現場に出かけて行って取材し、その内容を紙面に掲載することだった。

念願だった自前の印刷機

かつては、朝鮮戦争当時米軍で使われていたという超中古のオフセット機で印刷をしていた。しかし、1987年7月ついに新品の印刷機がセンターにやってきた。印刷トラブルで発行日が遅れがちになっていたがようやく改善された。

三センター広報誌交流会の開催

日本の三大寄場には、山谷の「ひろば」と寿町の「寿生活館だより」という広報紙が発行されている。各広報担当者が集まり、情報交換やこれからの紙面づくりに役立てようと1987年12月に初めて交流会をもった。その後もこの集まりは数回もたれている。

★1988年4月出版



森先生の 詰め将棋 (五手詰) 持駒 金銀

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				と	皇			馬
					角	王		銀

答えは裏面に掲載

カマヤん ありはら 著



変えてみよう仕事と生活 チャレンジ!

本年度新たな取り組みとして、職種転換・常用就職に役立つ講習を計画しました。
建設機械の習熟講習と造園・林業職種転換講習をおこなない、受講者とスタッフから意見や感想をいただきました。

重要で難しい操作を 時間をかけて練習

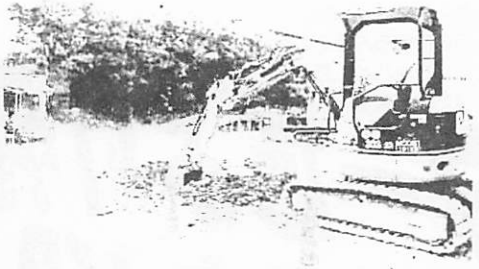
建設機械の習熟講習は8日間で、受講者一人ひとりに建設機械の実験経験を多くとった講習です。基本的操作から、ダンパへの残土の積込作業、管入れ作業などの、建設や土木現場での模擬コースです。重機で掘削し、管を入れ埋戻しをするという、実際の現場と同じ作業工程を何度も行うなど、現場ですぐ応用できる講習です。重要で難しい操作などは、時間をかけて繰り返し行うことで技能のアップを図りました。

機械操作方法の上達を目指して意見の交換をしたり、難しい操作はお互いに指摘しあったりして、受講者同士が技能向上をはかっています。また、順番待ちの間も自分がレバーを握っているかのように、身振り手振りで、実車している講習者を見ながらイメージトレーニングをしています。他の受講者が指導されている内容を自分のことのように真剣に聞き入っている受講者もいました。



受講者の声

「半日で普通の技能講習の1回分の中身がある」「神経を使ったが集中した講習を受けることができた」



受講者の声

「山の仕事が好きだったので基礎から十分な講習が受けられて良かった」「チェーンソーや刈払いの資格は取得しているので将来林業の仕事につきたい」

講師の声

「講習のポイントごとに受講者の技術に対する評価を行い、よかった面・悪かった面を率直に本人に伝え、各人のレベルアップを目指しました」

シャワールーム無料開放日

8月20日(月) 25日(土)まで
午後4時～6時半まで

たぞがれコンサート

- 日時：9月4日(火) 午後6時15分～
- 場所：三角公園
- 雨天時は9月5日(水)に順延



結核健診

健診日程
8月21日 センター南側 (午後2:30～4:00)
9月4日 センター北側 (午前10:00～12:00)
11日 医療センター南側 (午前9:30～11:00)
18日 センター南側 (午後2:30～4:00)

【連絡先】
大阪市保健所分室 (更生相談所3階)
電話6632-2600

【市民健康診査日程】
8月29日(水) 午後2時～3時半まで
南津守小学校
無料と希望診察(有料)あり

投稿

宿命(二十三)
炎のごとく
何かを見つめて
走り続ける姿は
人生の青春の証なり
ゆえに、
勝つことだけを
追い求める姿は
美しいものがある
ゆえに、
ゆとりの時を
もつ事も
忘れてはならぬ
萩之茶屋 孝行
俳句十首 季「夏」
損得忘るが如く暑き日や
蓮の花何を語りむこの世にて
老教師水着で戯るる夏の昼
様々な事忘れさず盆踊り
鈴音如涼かなりしの熊野道
螢火や明々照らせ四隅まで
盆踊り兄貴の声に振り向くや
嫁入りを通せんぼする夏の蝶
夏の雲彼方の地迄流るるや
朝顔や水欲しくてか我を見る
天野 洋佑

釜ヶ崎日誌

7/7、8 全国地域寄せ場交流会が大坂で開かれる(主催:同実行委員会)
7/27、28 ソウルにてチョッパ(韓国の簡易宿所)地域再生日韓合同シンポジウムが開催される(釜ヶ崎の取り組みを参考にしたワークショップ)
7/26、28 英国ロンドンで開催のデンライトアウトアウチ国際フェスティバルで釜ヶ崎の紙芝居サークル「むすび」が上演

たすね人

湯本 宏行 (和歌山 31)
石井 伸一 (茨城)
高 明用 (韓国)
平山 良光 (兵庫)
有坪 寛彦 (大阪)
加藤 成行 (大阪)
馬場 浩一 (岡山)
林 得典 (三重)
谷之上 義信 (鹿児島)
川本 泰司 ()
清水 幸重 (岡山)
上間 辰雄 (沖縄)
山下 和雄 (徳島)
赤司 文彦 ()
井上 英吉 ()
貴 栄一 ()
坂倉 富男 ()
酒井 謙介 ()
猿渡 和夫 ()
長谷川 久雄 ()
尾上 忠雄 ()
小柳 秀治 ()
藤崎 良門 ()
寺崎 厚男 ()
花岡 久寛 ()
矢野 敬司 ()
長谷川 久雄 ()
尾上 忠雄 ()
小柳 秀治 ()

およびだし

詰将棋の回答

▲2二角成 ○三四玉 ▲2三馬
○同玉 ▲1三角成まで
初手は見るからに ▲1三角が邪魔駒で、▲2二角成から ▲2三馬と単純明快に捨てる。
○同玉に ▲1三角成で角を消すトリックが成功。種明かしもいらない。

()内は出身地、年齢(敬称略)
【2月1日～7月10日受付分】

雇用保険業務取扱状況【あいりん労働公共職業安定所】

(表Ⅱ-13)

年 度	新規求職者数	年 度 末 有効求職者数	保険金給付実人員 (各月平均)	給付延べ日数
2000(平成12)	2,192	14,062	9,726	1,343,017
2001(平成13)	1,519	12,710	9,397	1,311,069
2002(平成14)	1,010	10,491	8,224	1,149,711
2003(平成15)	950	9,027	7,067	991,085
2004(平成16)	763	7,356	5,632	780,987
2005(平成17)	559	5,696	4,322	590,184
2006(平成18)	417	4,203	2,889	380,729
2007(平成19)	246	3,427	2,174	286,501

健康保険取扱状況【玉出社会保険事務所】

(表Ⅱ-14)

年 度	被 保 険 者 手 帳				年度末 有効手帳	受 給 資 格 者 証				受給資格 確 認	傷病手当 件 数
	新規	更新	再交付	計		新規	更新	再交付	計		
2000(平成12)	1,203	5,137	830	7,170	7,301	825	4,734	627	6,186	43,480	350
2001(平成13)	911	4,810	676	6,397	6,676	609	4,442	543	5,594	40,954	326
2002(平成14)	549	4,039	520	5,108	4,957	476	5,491	431	6,398	33,371	257
2003(平成15)	491	3,352	372	4,215	4,043	331	2,779	291	3,401	29,031	197
2004(平成16)	351	2,641	347	3,339	3,152	260	2,145	261	2,666	21,897	122
2005(平成17)	249	1,989	234	2,472	2,262	193	1,711	193	2,097	16,936	93
2006(平成18)	191	1,346	178	1,715	1,636	132	1,171	148	1,451	11,135	61
2007(平成19)	112	1,017	129	1,258	1,209	74	914	97	1,085	9,486	92

日雇労働者福利厚生措置事業状況

(表Ⅱ-15)

年 度	夏 期			冬 期			合計支給総額
	支給金額	支給人員	支給総額	支給金額	支給人員	支給総額	
2000(平成12)	16,900	12,683	214,342,700	18,400	12,749	234,581,600	448,924,300
2001(平成13)	16,900	12,461	210,590,900	18,400	12,012	221,020,800	431,611,700
2002(平成14)	16,900	10,724	181,235,600	18,400	9,840	181,056,000	362,291,600
2003(平成15)	16,900	8,948	151,221,200	18,400	8,401	154,578,400	305,799,600
2004(平成16)	16,900	7,516	127,020,400	18,400	7,208	132,627,200	259,647,600

※ 2005年度(平成17年度)以降、取り止め。

Ⅲ 施設管理運営事業

Ⅲ 施設管理運営事業

1 日雇労働者福祉施設の受託経営

日雇労働者の就労斡旋並びに福祉の向上を目的に建設された、あいりん労働福祉センターの管理運営を大阪府から受託している。

受託事業の内容は、労働施設の機能を維持すること、及び福利施設の経営である。

労働施設の具体的な機能としては、就労斡旋施設や日雇雇用保険・健康保険認定事務のための、労働者の待合施設としての機能の維持である。

福利施設の運営に関しては、食堂・売店・理髪店・シャワールームなどの経営委託の他、小間割売店への施設貸付業務を行い、低廉で行き届いたサービスがされるよう委託業者等の指導を行うことにより、施設利用労働者の福利厚生を図った。（表Ⅲ－１、２）

（１）施設管理業務

あいりん労働福祉センターのシャッターの開閉業務、娯楽施設の適正な利用、受電設備等の維持管理、防火管理、衛生管理、施設内の秩序維持、場内指導等の日常業務を適正に行い、日雇労働者福祉施設の機能維持を図った。

管理室を訪問した労働者 月平均 78名

（２）福利施設事業者等への指導

食堂・売店・シャワールームや理髪店等の委託業者及び小間割売店の業者に対して指導を行い、施設利用労働者の福利厚生向上を図った。

食堂・シャワールーム等の委託業者 5業者 6店舗
小間割売店の業者 15業者 16店舗

（３）環境美化業務

あいりん労働福祉センターの環境美化を図るため、日常清掃、消毒、放置自転車の整理、落書きの始末等を行った。

放置自転車の整理 日平均 158台
自転車の処理（撤去） 年間 169台
落書きの始末 月平均 6件

（４）事故対策業務

シャッター閉鎖時の妨害・暴行傷害行為への対応、焚火の始末、設備等破損の修復、便所・下水の詰まり等への対応措置を行った。

職員への業務妨害・暴行傷害 年間 106件

（５）労働者救護業務

あいりん労働福祉センター内において、負傷・疾病労働者の救護や泥酔者の緊急保護を行った。

月平均 7名

2 あいりん労働福祉センター特別清掃事業

（表Ⅲ－３）

あいりん労働福祉センターの環境美化と、就労機会の減少している地区高年齢日雇労働者の就労機会の確保を図るため、特別清掃事業を実施した。

月平均 601名

2007年度（平成19年度）

あいりん労働福祉センターにおける事案の発生と措置状況

（表Ⅲ-1）

事案の内容	年間数	月平均	前年度	前々年度
負傷者・病人の救助	88名	7名	77名	77名
盗難事件の措置	1件	—	1件	2件
変死者の措置	3名	—	3名	1名
消火活動・焚火の始末	18件	1件	18件	33件
場内放置自転車の処理 （撤去）	169台	14台	28台	189台
落書きの始末	73件	6件	62件	66件
シャッター閉鎖時の妨害 職員に対する暴行・傷害	106件	8件	142件	160件
泥酔者の連れ出し	11,776名	981名	12,663名	11,534名
設備等の破損	165件	13件	137件	132件

2007年度(平成19年度)

あいりん労働福祉センター利用状況

(表Ⅲ-2)

施設区分		施設委託業者 (5業者6店舗)		小間割売店 (15業者16店舗)	
月別	年度	利用延人数	営業日数	利用延人数	営業日数
4月	2006年度	48,626	161	25,677	309
	2007年度	61,373	164	18,125	291
5月	2006年度	60,362	145	22,239	322
	2007年度	64,241	165	17,740	305
6月	2006年度	75,946	178	22,294	328
	2007年度	70,144	172	18,206	299
7月	2006年度	65,883	164	22,312	323
	2007年度	63,253	158	17,873	287
8月	2006年度	66,780	177	23,854	326
	2007年度	76,868	177	19,636	287
9月	2006年度	67,066	162	23,330	322
	2007年度	73,945	159	17,899	288
10月	2006年度	60,857	171	24,860	338
	2007年度	68,222	174	19,623	302
11月	2006年度	67,052	166	22,540	329
	2007年度	64,591	161	14,755	265
12月	2006年度	55,402	153	23,780	333
	2007年度	55,016	152	13,799	232
1月	2006年度	52,407	154	20,619	317
	2007年度	54,556	152	14,134	238
2月	2006年度	58,278	155	21,395	318
	2007年度	50,623	166	17,053	282
3月	2006年度	69,682	175	28,193	336
	2007年度	55,667	169	18,350	294
計	2006年度	748,341	1,961	281,093	3,901
	2007年度	758,499	1,969	207,193	3,370
前年対比		1.4%	0.4%	-26.3%	-13.6%

※ 上段は2006年度(平成18年度)、下段は2007年度(平成19年度)

2007年度（平成19年度）

あいりん労働福祉センター特別清掃事業 作業員就労状況

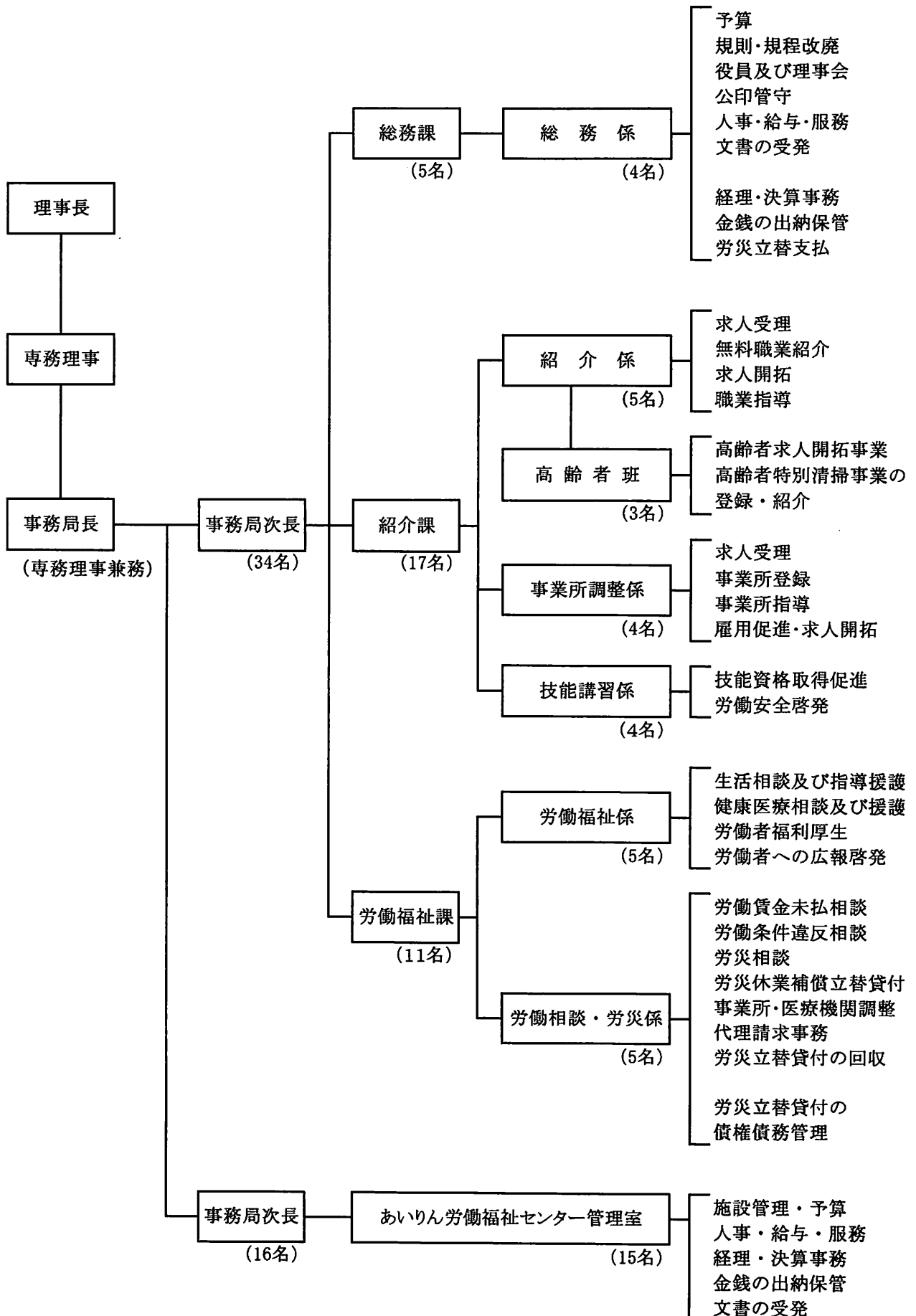
(表Ⅲ-3)

	就 労 者 (人)	不 就 労 者 (人)	合 計 (人)
4月	596	4	600
5月	620	0	620
6月	598	2	600
7月	619	1	620
8月	616	4	620
9月	600	0	600
10月	618	2	620
11月	598	2	600
12月	597	3	600
1月	559	1	560
2月	578	2	580
3月	620	0	620
合 計	7,219	21	7,240
前 年 度	7,205	15	7,220
前々年度	7,200	20	7,220

組 織 図

平成20年4月1日現在

(分 担 事 務)



現員合計 50名 (理事長、専務理事を除く。再雇用者を含む。)

沿 革

1961 (昭和 36) 年	8 月 1 日	釜ヶ崎事件
1961 (昭和 36) 年	9 月 1 日	大阪府労働部西成分室開設
1962 (昭和 37) 年	9 月 28 日	無料職業紹介事業許可 (労働省収職第 1 4 2 0 号)
1962 (昭和 37) 年	10 月 1 日	財団法人西成労働福祉センター設立
1962 (昭和 37) 年	12 月 17 日	第 1 回事業主懇談会
1963 (昭和 38) 年	6 月 10 日	求職の登録制度開始
1964 (昭和 39) 年	9 月	日雇労働者健康保険加入手続き事務開始
1965 (昭和 40) 年	4 月	日雇労働者失業保険加入手続き事務開始
1966 (昭和 41) 年	4 月 1 日	労災立替貸付業務開始
1966 (昭和 41) 年	6 月	釜ヶ崎を「あいりん地区」と呼称
1970 (昭和 45) 年	10 月 1 日	あいりん総合センター開所 (事務所移転)
1970 (昭和 45) 年	12 月 30 日	求職の登録制度廃止
1972 (昭和 47) 年	8 月 1 日	大阪府労働部に特別対策室設置
1974 (昭和 49) 年	6 月 28 日	事務局組織改正 (3 部制を 4 課 6 係制に)
1975 (昭和 50) 年	8 月	日雇労働者福利厚生措置、財団で取扱開始
1976 (昭和 51) 年	11 月 1 日	事業所登録制度始める
1977 (昭和 52) 年	11 月 28 日	第 1 回就労正常化促進週間実施
1978 (昭和 53) 年	1 月 30 日	「センターだより」創刊
1978 (昭和 53) 年	6 月 12 日	事務所内に玉出社会保険事務所窓口開設
1980 (昭和 55) 年		「労働者便利帳」発行
1981 (昭和 56) 年	3 月 5 日	「将棋愛好者の集い」を開催
1981 (昭和 56) 年	6 月	窓口紹介、集中公開方式始める
1981 (昭和 56) 年	9 月 3 日	第 1 回たそがれコンサート開催
1983 (昭和 58) 年	5 月 18 日	事務局組織改正 (4 課 8 係)
		事業所係、労働相談係設置
1989 (平成元) 年		日雇 (現金) 求人数センター発足以来最高の年に
1991 (平成 3) 年	4 月 1 日	事務局組織改正 (3 課 6 係 2 班)
1993 (平成 5) 年		技能講習 (ガス溶接、アーク溶接) 開始
1994 (平成 6) 年	11 月	特別清掃事業実施 (大阪府・市)
1995 (平成 7) 年		技能講習 [車両系 (整地、解体)] 開始
1997 (平成 9) 年	4 月 1 日	事務局組織改正 (3 課 6 係 2 班)
		紹介課高齢者班設置、労働福祉課労災係管理班廃止
2000 (平成 12) 年	4 月 1 日	あいりん地区日雇労働者厚生事業開始
2000 (平成 12) 年	4 月 13 日	事務局組織改正 (3 課 6 係 3 班)
		労働福祉課労災係労働安全班設置
2001 (平成 13) 年	4 月 1 日	事務局組織改正 (3 課 6 係 2 班)
		紹介課事業所調整係技能講習班設置、労働福祉課労働相談・労災係設置
		紹介課労働相談班廃止、労働福祉課労災係及び労災係労働安全班廃止
2001 (平成 13) 年	6 月 29 日	厚生労働省から日雇労働者技能講習事業を受託
2001 (平成 13) 年	11 月 1 日	あいりん労働福祉センター管理室を移管統合
2008 (平成 20) 年	3 月	技能講習室を開設 (喫茶室跡を改修)
2008 (平成 20) 年	4 月 1 日	事務局組織改正 (3 課 6 係 1 班)
		総務課 庶務係・経理係を総務係に
		紹介課 技能講習班を技能講習係に

守 ろ う 人 権

明 る い 社 会

経 験 豊 か な 労 働 力

高 齢 労 働 者 の 雇 用 は セ ン タ ー へ

財 団 法 人 西 成 労 働 福 祉 セ ン タ ー

〒557-0004 大 阪 市 西 成 区 菫 之 茶 屋 一 丁 目 3 番 4 4 号

求 人 : 06-6632-3200 高 齢 者 班 : 06-6633-7998

技 能 講 習 : 06-6641-0325 (技) FAX : 06-6641-0320

労 働 福 祉 : 06-6641-0296 相 談 労 災 : 06-6634-6535

総 務 : 06-6641-0131 F A X : 06-6641-0297

管 理 室 : 06-6632-1552